



月刊 さいとう健けん

発行所: 自由民主党本部 定価1部110円(税込) 毎週火曜日発行
住所: 〒100-8910 東京都千代田区永田町1-11-23

《 ミニプロフィール 》

昭和34年、小さな写真屋に生まれる。
大学時代は、ハンドボール部のキャプテンとして活躍。
零細企業に育ったこともあり、中小企業を担当する通商産業省に入省。
日米交渉や道路公団民営化、地方行政(埼玉県副知事に意向)などに携わる。
平成18年衆議院千葉七区補欠選挙にて公募により選ばれるも、惜敗。
平成21年衆議院総選挙において、初当選。5期目。環境大臣政務官、
党副幹事長、党農林部会長、農林水産大臣、予算委員会理事を経て、
現在、厚生労働委員会筆頭理事としてコロナ対策の最前線で奮闘中。
[趣味] ハンドボール、カラオケ、読書、映画
[好きな食べ物] ラーメン、焼肉(特にカルビとハラミ)



号外

令和4年8月1日発行

子どものための政策 & 安倍元総理を偲ぶ

児童福祉法 の改正

令和2年度の児童相談所での相談対応件数は過去最多の20万件を超え、要支援・要保護のこどもは約23万人に上っています。

対策の充実が求められる中、令和4年5月13日には、さいとう健が筆頭理事を務める衆議院厚生労働委員会で、政府提出の児童福祉法改正案が、委員会で修正する形により、全会一致で可決いたしました。その後、参議院の審議も経て、改正案は成立し、6月15日に公布となりました。

改正により、こども家庭センターの設置を市町村に促すこととなりましたが、そのほかにも、「支援年齢の壁」が解消されることとなりました。これまで、児童養護施設や里親家庭で育ったこどもたちが、日常生活上の援助や就業の支援などを受けられるのは、原則18歳(最大22歳)までとなっていたところ、一律の年齢による制限を止めました。これにより、やむを得ない事情があるときは、年齢にかかわらず、柔軟に、自立のために必要な援助を受けられることとなりました。そのほかにも、こどもの意見を聴く仕組みが導入されたり、司法と連携したこどもの円滑な一時保護の仕組みが導入されたりしています。

衆議院厚生労働委員会での審議は大変厳しいものがありましたが、さいとう健は、法案を通す責任者として、委員会通過までもっていくことができ、ほっとしております。法の着実な施行により、こどもの悲劇が少しでも減ることを念じています。

こども宅食 の強化

こどもがいる世帯のうち、食料が買えない経験があるという世帯が16.9%もあるという調査結果があります。

こういうこともあり、「こども食堂」や、ひとり親家庭などに食料を直接お届けする「こども宅食」の取組みが、全国各地で広がってきています。さいとう健は、令和2年11月25日に、テレビ入りの衆議院予算委員会で、こども宅食への政府備蓄米の提供を厳しく働きかけ、令和3年2月1日から実現の運びとなりました。

その後も、さいとう健は活動を続け、令和4年4月には、さいとう健が所属する自民党こども宅食推進議員連盟が、現場で活動される方々のご要望を踏まえ、農水省に政府備蓄米の1回あたりの申請上限数量の引き上げや、申請手続きの簡素化などを申し入れました。

結果、本年7月以降の申請から、「こども宅食」について1回当たりの申請上限数量が300kgから450kgに引き上げられ、申請様式も見直されることとなりました。今後は、1年間に計4回全て申請すれば、1,800kgの政府備蓄米が無償で提供されることになりました。



こどものための法案成立に向け、岸田総理とも意見交換をしながら、対応しました。

なお、食料が買えない経験がある方々がいる一方で、国全体としてみれば、多くの食品ロスも発生しているということも、忘れてはなりません。減少傾向にはあるものの、2019年度の食品ロス量は570万トンの推計となっています。国連世界食糧計画（WFP）は、飢餓をなくすことを使命に食料支援を行っていますが、2020年の食料配布量は約420万トン。日本で捨てられる食品の量の方が多い状況です。

政府でも食育をはじめ様々な取組みがなされていますが、ロス削減にもより一層力を入れる必要があります。

「食べること」は、「生きること」。食についても、一步ずつ、さいとう健は自分にできることを着実に実現していきたいと考えています。

安倍元総理を偲ぶ

令和4年7月9日付
メルマガ・健ズバッ！Vol.239より

昨日、安倍元総理が凶弾に命を落としました。一夜明けて、怒りと悲しみはむしろ強まっています。

大宰相であったと思います。個人的にも、当選三回でしかない私を大臣に任命してくれた方でもありました。農協改革やTPPなど難問山積みの農政を何とか乗り越えられたのも、安倍元総理のバックアップがあったからでした。

安倍元総理との思い出は尽きません。

落選した最初の補欠選挙のときにも応援に来てくださいました。苦しかった浪人時代、お金がなくて資金集めのために開いたパーティにも来て助けてくださいました。

私が農林水産副大臣のときでした。天皇陛下の生前退位を認める法案にはどうしても賛成できず、造反すると安倍総理に申し上げに行ったこともありました。政府の一員である現職副大臣が政府提出法案に賛成しないという異例の事態であったにもかかわらず、お咎めはありませんでした。

私が大臣の時の総裁選でした。安倍総理に大臣にさせていただきながら、安倍総理を応援せず石破さんを応援するという事を申し上げに行ったことがありました。安倍総理を応援しないのは、当時の大臣の中で私だけでした。一対一で話しましたが、政治家はいろいろあるからとおっしゃっただけでした。

などなどいろいろ思い出され、涙が出ます。

政治家には批判はつきものです。批判されたくなければ、何もしなければいい。振り返ると、安倍元総理は批判を恐れず、おのれの信ずる道を突き進んだ政治家だったとしみじみ思います。

そして、文字通り命をかけて政治をやられていたと、今更ながら思います。

今は、感謝の言葉しかありません。本当にありがとうございました。安らかに。

元農林水産大臣
衆議院議員 齋藤 健

メルマガさいとう健

名前・住所の登録不要。

月刊さいとう健では伝えきれない内容満載。

返信すれば匿名で意見を伝えられます。

<http://www.saito-ken.jp/info/melmaga.html>



討議資料

～ 後援会入会はコチラまで ～

さいとう健 後援会事務所(流山おおたかの森駅 北口すぐ)

〒270-0119 流山市おおたかの森北1-5-2セレーナおおたかの森2階

TEL: 04-7190-5271 FAX: 04-7190-5272 E-mail: info@saito-ken.jp

さいとう健 国会事務所